

# Seisei Times No.5

聖星タイムズ  
OCTOBER 2018



## 自分の中の新しい可能性を見つけ、「さらに上の選択肢」を目指そう

今号の聖星タイムズは、校長になって今年で3年目の重信明利先生へのインタビュー記事をお届けしましょう。30年間、「海の星」聖星「一筋の教員生活を送り、開学以来初の男性かつシスターでない校長となった重信先生。本校の現状と将来展望について、率直に語っていただきました。

—女子校から共学校への移行は順調に進んでいますね。

重信 男女の中学生に「聖星」という新たな選択肢ができ、生徒の応募数が格段に増えました。また、共学化に向けて本校の先生方が致団結して協力してくれたことも、成功の大きな要因だと言えます。

—女子校時代に比べて、校内の雰囲気は変わりましたか。

重信 生徒同士の仲がさらに良くなったように感じます。やはり、女子ばかりだと仲良しグループで固まりがちですが、男子が入ることでクラス全体のワイワイガヤガヤ感が増えますからね。それに、男子は女子に比べて子どもっぽいというか、頭の中がシンプルというか(笑)。教師から見ても素直で可愛げのある生徒が多いです(笑)。

—なるほど(笑)。そういう校内の明るい雰囲気を残したまま、今後は教育のさらなるレベルアップが必要と思われませぬ。

重信 その通りです。もともと本校は「生徒の進路希望を叶える」ことで定評がありましたが、これからはもっと視野を広げて、「さらに上の選択肢」を目指せるよう指導していきたいと考えています。確かに、生徒が希望の進路へ行けるのは大切なこと。でも、「もう少し頑張ってもっとレベルの高い進路へ」という高い目標を、生徒にも保護者の方にも持つてもらいたいです。

—「少年少女よ、大志を抱け」ということですね。

重信 はい。学校生活の中で大事なことは、生徒自身が自分の中にある、新しい可能性に気付くこと。私たち教員は、その気付きをしっかりとサポートしなければなりません。そして生徒たちには、卒業後、「聖星高校で学んだから、この大学に行けたんだ」という本当の満足感を得てほしいと思っています。

—ところで、普段、校長先生が学校でどんな1日を過ごされているのか、生徒たちには興味があると思うのですが。

重信 特別なことは何もありません(笑)。今日はたまたま、先生方一人ひとりとこの面談がありましたけどね。



来年の授業計画の構想づくりのため、現場のリアルな情報を先生方から教えてもらいました。もともと、普段から私は職員室に机を置いて執務していますので、先生方とのコミュニケーションに不自由はありません。また、ほとんどの先生は私のことを校長ではなく「重信先生」と呼んでおり、同僚の延長線上の「兄貴分」のような存在と思っっているようです(笑)。

—生徒たちとの触れ合いは。

重信 時々、授業中の教室をアポなし訪問することはありますが、私が行くとき生徒たちが気を使うので、基本的に自粛しています(笑)。また、部活はテニス部の副顧問をしており、サッカーやバスケの試合を応援に行くこともあります。まあ、私は昔のような威厳ある校長先生のイメージではないかもしれませんが、今後とも自然体で職務に取り組んでいきたいと思っています。

浜松聖星高校に昼が来た!みんなが楽しみのランチタイムに、重信校長はどんな「サラメシ(働く人の昼食)」を食べているのでしょうか?

### 初公開!!これが校長先生の「サラメシ」だ!

何と、校長先生は今流行りの“弁当男子”だったのです!この日のメニューは、豚肉のソテー、ゆで卵、ポテトサラダ、プチトマト、ゆかりご飯。「外食よりヘルシーで、節約にもなるのがお弁当のいいところ」と笑顔で語ります。校長先生のスマートな体型と、いつも穏やかな笑顔の秘訣は、手づくり弁当を取り入れた健康的な食生活にあるのかもしれない。



私はいつも弁当派。おかずは、ほとんど自分で作っています。



スピーチでは自分の言葉で気持ちを伝えます

この5日間で海外の学生たちととても仲良しに。

全員で記念撮影。みんなよく頑張りました!

# Empowerment Program

## 英語漬けの5日間で得た自信!

昨年からは始まり今年2回目となる「エンパワメントプログラム」が、夏休み後半に開催されました。これは海外の方々や英語でディスカッションすることで、語学力だけでなくコミュニケーション力を伸ばして自己啓発を促すことが目的。5日間の校内研修に1年生の55名が受講しました。

エンパワメントプログラム1日目。「どんなプログラムなんだろう」「ちゃんと英語が理解できるかな」「自分はどんな話をしよう?」そんなドキドキの生徒たちの緊張をほぐそうと、大きな声でジェスチャーで話しかける外国人ファシリテーター(進行役)。そして各グループリーダーを務める海外の学生たちも、笑顔で握手を求め生徒たちに話しかけます。

自己紹介をするにも、最初はなかなか大きな声で話せなかった生徒たち。それでも、英語漬けのお陰で2日目、3日目と日に日に会話にも慣れ、緊張もほぐれていった様子です。テーマに合わせてディスカッションするプログラムでは、積極的に自分の意見を伝えようとしていました。

最終日には、一人ひとりがこの5日間で学んだことや将来の夢について発表です。「常にポジティブな考え方が大事と気付いた。英語を話すにも、間違いを怖がらずにチャレンジしたい」「笑顔で話すことがコミュニケーションの基本。お互いを認めて歩み寄ることが繋がることが分かった」と、5日間がとて

も良い経験になったと口々に言います。そして、学校の先生やフライトアテンダントなど、将来なりたい職業を掲げ、そのためにどう自分が努力するかをスピーチ。中には「将来、大成功して、プライベートの強い発表も招待するよ」という力強い発表もあり、会場からも大きな拍手が沸き起こりました。

充実のプログラムはすべて終了。グループリーダーたちからお別れの挨拶です。「みんなと過ごした時間を忘れません。楽しかった!」「みんなすごく変化したわ。これからもベストを尽くして」「絶対になれる!と信じて!」などの言葉が贈られると、生徒たちもしつかりと心に刻みこんでいるようでした。

またこのプログラムを受けられたみんなからは「ラッキー。先生に感謝、そして帰ってからは両親にもありがとうと伝えてね」とファシリテーター。その言葉通り、参加生徒たちも自分に向き合い、世界各国の人たちと触れ合う貴重な時間となったようです。

### 浜松聖星高等学校 平成30年 夏期アメリカ研修

アメリカ西海岸(サンディエゴ・ロサンゼルス・アナハイム) ~サンディエゴ州立大学(SDSU)キャンパスにて英語研修~

旅行日:平成30年7月24日(火)~8月7日(火)

【日程表】

日	出発	到着	研修内容	備考
1	12:30	14:00	現地アメリカ人と一緒にサンディエゴ州立大学 キャンパスツアー	
2	12:30	14:00	サンディエゴ市内観光(ラ・ホヤ、シーホークビル、ダウンタウン観光)	
3	12:30	14:00	アメリカ人大学生と一緒にバルボパークにてスカベンジャー・ハント(宝探しクイズ)	
4	12:30	14:00	世界一美しいサンディエゴ動物園の見学	
5	12:30	14:00	アナハイム ディズニーランドで最後の思い出作り	
6	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
7	12:30	14:00	ホームステイ	
8	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
9	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
10	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
11	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
12	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
13	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
14	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
15	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
16	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
17	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
18	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
19	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
20	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
21	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
22	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
23	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
24	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
25	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
26	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
27	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
28	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
29	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	
30	12:30	14:00	サンディエゴ州立大学	

旅行代金や申込方法の詳細は別紙案内を参照ください。日程詳細や不明な点は英語科 中村まで問合せください。

初めての海外旅行で最初はとも緊張しましたが、さまざまなところを案内してもらい日々感動でした。ホームステイ先では生徒二人、または三人で宿泊できたので心強かったです。

最初は英語で話しかけられても全然わからなかったけれど、大きなジェスチャーでこちらがわかりやすいように話してくれたので、だんだん聞き取れるようになってうれしかったです。

自分が英語で話すことが、少しずつ相手に伝わりやすくなるのを実感できて、とても自信がきました。

アメリカ人だけでなく、中国人留学生などいろんな国の人と交流できたのが楽しかったです。

苦手な英語を克服できればと研修に参加しました。すると英語に対する自分の感じ方が変わったのがよくわかります。今までは英語への拒否反応が大きかったけれど、今では「英語ではどう話せばいいだろう」と考えるようになりました。

帰国してから、家族と話しても、無意識に「oops」とか「sorry」と口から出てしまったりも。

2週間の海外経験で、英語で話すことだけでなく、普段の日本語でも積極的にコミュニケーションを心掛けるようになったように思います。

ホストファミリーの皆さんは、その日の出来事や日本の文化、天候、家族のことなど、いろいろ話をしました。ピーチに連れていってもらったり、映画を観に行ったりしたのですが、リアクションがとても大きくて楽しい思い出になりました。

出発時、空港の入国審査で「英語の質問に答えられるか?」と不安がっていた生徒も、帰国時には驚きで対応できる成長ぶり。一人ひとりが大きき収穫を持って帰国しました。

## 参加生徒12名 アメリカ短期研修 サンディエゴで大きな経験

今年7月24日~8月7日に行われたアメリカ短期研修は12名が参加。今年度から行先はカリフォルニア州サンディエゴになりました。

平日午前中はサンディエゴ大学のESLを受講。これは本校生徒利用の特別プログラムで、大学内の特別室を借り、素晴らしい授業を受けることができました。午後のアクティビティーでは、ラホヤというリゾート地やマリリンモンローの映画「お熱いのがお好き」のロケ地にもなった「ホテルユノナド」などを訪れました。

また、講師の先生が自分の教え子たちを連れてきてくれたおかげで、現地の大学生や高校生とも親しく交流できたことは、今までにない経験となりました。

出発時、空港の入国審査で「英語の質問に答えられるか?」と不安がっていた生徒も、帰国時には驚きで対応できる成長ぶり。一人ひとりが大きき収穫を持って帰国しました。

参加生徒12名、アメリカ短期研修、サンディエゴで大きな経験。

### ブラッドリー先生の間違いやすい日常英会話 ★Lesson 5★

今泉先生は数学の先生です。

Mr./Ms. Imaizumi is a math teacher.

Teacher Imaizumi is a math teacher.

OK! GOOD!

NO!

“Teacher”は敬称として使いません!

「今泉先生」を直訳して、そのまま「Teacher Imaizumi」または「Imaizumi Teacher」と呼びたくなる気持ちもわかりますが、英語の「teacher」は、あくまで「教師」を意味し、敬称として使うことができません。代わりに、「Mr.」(ミスター)か「Ms.」(ミズ)を使います。

### 語学の習得

浜松聖星高等学校 校長 重信明利

免許を取り、車を持つと、通勤にしてもレジャーにしても、専ら移動手段は車が中心になってしまい、自転車に乗る機会などは極端に減ってしまいます。しかし、それでも私たちが自転車の乗り方を忘れてしまうことがないのは、幼いころ、何度も転倒しては擦り傷をつくり、泣きべそをかきながら自転車に乗る技術を訓練によって習得したからです。

一説では自転車に乗れるか乗れないかはこの「技術」として「やる気」の問題だといわれています。つまり、自転車に乗ること自体、「知識」ではなく「技術」であるから、それを習得するには「勉強」ではなく「訓練」が必要となってくるというのです。そしてこの訓練で身につけた技術はほぼ一生身体に染みついてしまうので決して忘れることはありません。ただ、この厳しい訓練を乗り越えられるかどうかは「やる気」があるかないかにかかっていて、たとえば「どうしても自転車で友達と一緒に遊びに行きたい」といった幼心に描いた具体的な目標がこの「やる気」を引き出すということなのです。

実は先日、語学に堪能な先輩から「英語も知識ではなく技術である」という話を聞きました。知識の修得ではなく技術の習得ですから、語学の習得には勉強ではなく訓練が必要であるということになります。そして、自転車同様、「やる気」も重要な要素となるのです。

結局、英語を操るようになるためには幾多の挫折とそこから立ち上がる闘志、「どうしても英語で海外の人としゃべりたい」という具体的な目標がなくてはならないということなのです。

### 「世界に貢献する人間」を育てる

学校法人 浜松海の星学院 理事長 北脇保之

浜松聖星高校は、共学化するに当たり、「隣人愛の実践により世界に貢献する人間を育てる」という新しい教育目標を掲げています。育てるべき人間像として、従来主として、人々と協調して堅実に世の中を支える人をイメージしていたのですが、その人間像の幅を拡げ、難しい仕事や重い責任を引き受けて、多くの人の先頭に立つような人を育てることももっと力を入れていきたいと考えています。

この教育目標において「世界」というのは人間が生きる環境のすべてを指すもので、小は1対1の人間関係から家族、地域、会社、国から国際社会まですべてを含みます。したがって、家族や地域に奉仕することから外交や国際協力、国際経済の仕事まですべてが立派な「世界への貢献」なのです。

また、この教育目標は、エリート主義を標榜するものでもなければ、学力偏差値で人を評価するものでもありません。しっかり学んで力をつけ、重責を担い、世の中の役に立つことができればそれは大変素晴らしい、ごくまっとうな考えによるものです。人が神様から与えられる力にはさまざまな種類があり、その大きさは人によって違います。結果的に大きな仕事をする人、そうではない人が出て来ますが、そのこと自体に優劣、上下はなく、神様から与えられた力を精一杯発揮できたかどうかの方が大事です。私たちは、生徒一人ひとりが与えられた力を最大限発揮できるよう、導き支えていきたいと思ひます。

# 吹奏楽部

## 全国大会出場は 日頃の積み重ねの賜物

「吹奏楽の甲子園」とも評される全日本吹奏楽コンクールに、今年も4年連続6回目の出場を果たしました。全国大会への出場は、8月の東海吹奏楽コンクールで見事金賞を受賞したことによって獲得したものです。昨年の銅賞から確実に音楽性アップを評価された賜物なのです。

「私たち吹奏楽部は、コンクールのための部活動が目的ではありません。日々の一つひとつの演奏会で聴いてくださる方々を幸せにすること、その積み重ねがコンクールの成果に顕れるのだと思っています」。話すのは吹奏楽部音楽監督の土屋史人先生。言葉通り、4月に1年生新入部員を迎え新たなスタートを切ってから、さまざまなコンサートで多くの人たちに演奏を届けています。5月の浜松まつりでは、プロムナードコンサートで歌って踊って地元の聴衆を魅了。9月のオータムコンサートでは、当部卒業生で現在東京藝術大学別科在学中のユーフォニアム演奏家、山崎由貴さんをゲストに迎え、レパートリー豊かなプログラムを披露しました。

「多くの方々に応援していただいた喜びと感謝、日々の生活で向き合う感情や自分への試練を乗り越える時間、そういうすべてが演奏の柔軟性、音の響きにつながるのだと思います」と土屋先生。きっとこれからも、部員一人ひとりの成長によって、チーム全体の音もさらに進化していくことでしょう。



# 陸上競技部

## 3年梅組 平井美羽さん 女子800mでインターハイ出場

3年生の平井選手は6月に三重県伊勢市で開催された東海高校総体決勝で4位に入賞し、8月の第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会に出場。「高校3年間の陸上競技に有終の美を飾ることができました」とすがすがしい笑顔です。

平井さんは中学時代、走り幅跳びの選手でしたが、本校陸上部に入部してから中距離走に転向しました。それは陸上部顧問の土屋先生が彼女の素質を見出し、勧めたのがきっかけだったそうです。

以来、指導を受けながら走るフォームを調整しつつ、練習に没頭。800mで徐々に自己ベストを更新していきました。「800mはラスト200mが一番苦しいですね。でも、練習した分、タイムになって顕れてくれるのがうれしくて」と平井さん。土屋先生も「辛くても逃げずに自分を追い込んで練習できるのが彼女の強み。後輩たちにも良い影響を与えてくれたと思います」と評価しています。

これまで陸上選手として、日頃から夜の炭水化物や糖分摂取を控えるなど、食事にも自分で気をつけてきたという平井さん。インターハイを最後に、陸上競技を卒業するとのこと。後輩たちにこんなメッセージを送ってくれました。「みんなからのメッセージや手紙を大切にしています。ありがとうございます。これからは自分の目標に向かってあきらめずに頑張る。努力はきつと報われるから！」。



# Congratulations!

静岡県高等学校英語スピーチコンテスト(西部大会)  
優勝 3年松組 尹藝燕さん



## Campus Calendar

- 10月
  - 2日(火) 体育祭
  - 12日(金) 保育ふれあい体験
  - 22日(月) 2年生 チャペルアワー
  - 27日(土) 秋のオープンスクール
- 11月
  - 5日(月) 修学旅行(～11/9)
  - 8日(木) 1年生 チャペルアワー
  - 9日(金) キャンパスツアー(1年生特進)
  - 16日(金) 物故者追悼式
  - 17日(土) 2年生保護者対象 大学進学説明会
  - 24日(土) 秋のオープンスクール
  - 28日(水) クリスマスツリーの下で
- 12月
  - 8日(土) 入試説明会
  - 16日(日) 入試説明会
  - 23日(日) ステラサンクタクリスマス
- 1月
  - 23日(水) マラソン大会
- 2月
  - 2日(土) 保護者対象進路説明会
  - 24日(日) 吹奏楽部 第22回定期演奏会
  - 27日(水) 送別会
- 3月
  - 1日(金) 卒業証書授与式

## 同窓会 バザーへのお礼

平成30年6月9日(土) 浜松聖星高等学校のベリタスプラザに参加いたしました。同窓生やご家族よりたくさんのバザー品を提供していただき、賑やかに開催出来ました。晴天にも恵まれ、大変多くの方々が訪れて下さいました。売上金総額151,920円を、静岡新聞社の『愛の都市訪問』に寄付させていただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

